

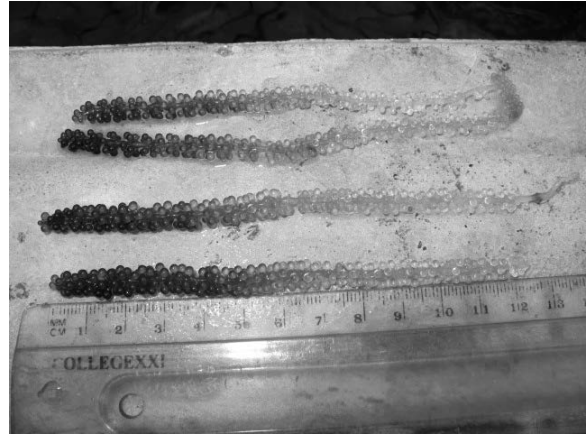
27. 久米島海洋深層水を使用した海ぶどう養殖

代表取締役社長 安里 一月・ ○場長 仲道 司 （久米島海洋深層水開発㈱）

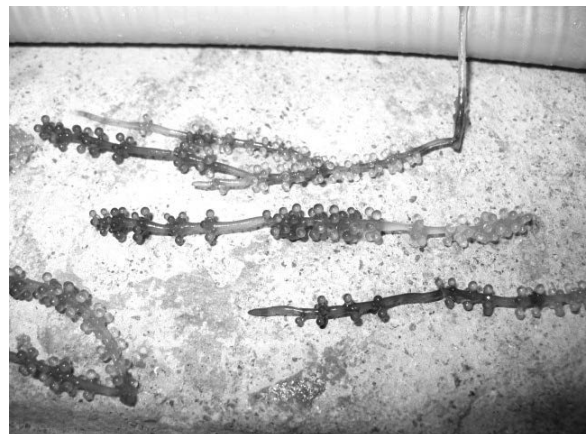
海ぶどうの陸上養殖技術が確立したのは1990年前半。県内生産量は2002年に89トンだったが、2011年には340トン。観光客を中心とした人気の高まりなどを受け、年々増大した。

久米島海洋深層水開発㈱水産事業部では、海洋深層水を使用した海ぶどう養殖の操業を2004年4月に開始した。操業開始時はハウス面積940坪、育成用水槽（2.5tFRP×364個）苗養生水槽（3tFRP×28個）。

操業から順調な生産軌道に至るまでかなり長い年月がかかった。会社方針で決められた品質重視の海ぶどう作りには、日々の育成試験の結果や、いろいろな管理方法を試行錯誤したゆえに『球美の海ぶどう』を安定して出荷することが可能になり、徐々に増設を重ね現在では水槽数は千を超える。



〔↑表層水、深層水ブレンド育ちの海ぶどう〕



〔↑表層水育ちの海ぶどう〕